

第2学年2組 英語科学習指導案

平成24年10月1日(月) 第2校時
場所 2年2組教室 指導者 馬場 正衣

1 題材名 Unit4 Homestay in the United States

2 題材設定の理由

(1) 教材観

本単元は、外国でのホームステイが題材として扱われている。本校の生徒にとってホームステイはあまり身近な話題ではない。しかしホームステイに関するガイドブックを読んだり、体験者の話を聞いたりすることで、生活様式や文化の違い、コミュニケーションの大切さについて考えることができる魅力ある題材である。また、言語材料には助動詞 (have to~, will, must, mustn't) を学習する。「助動詞+動詞の原形」という形は動詞の語形変化がなく、生徒にとっては比較的理解しやすい文法事項である。これらの表現を学ぶことで、以前よりも自分の考えを的確に伝えることができる。

(2) 生徒観

2年2組は男子11名、女子16名、計27名の落ち着いたクラスである。英単語の書きとりなどにつこつと取り組むことができ、8月下旬に行ったスプリングコンテストでは95%以上の生徒が合格できた。一方、自分の考えを發表することが苦手な生徒が多い。一学期に比べると発言が増え、活動にも意欲的に取り組みつつある。今後も生徒の興味・関心を探りながら活動に意欲的に取り組む雰囲気づくりをしたい。

(3) 指導観

導入では、ピクチャーカードを用いて前時の学習事項を復習する。ここでの復習が本時の展開、まとめの鍵になるので、生徒の興味、関心を引き出しながらテンポよく進めていく。展開では、ホームステイのアドバイスを読み、ホームステイとはどのようなものなのかを読み取る。その際、ホテル滞在と比較することでホストファミリーの一員として生活することに気づかせ、まとめでアドバイスの続きを書く活動へとつなげたい。

3 学習活動と評価の計画 (総時数 9時間)

時間	学習活動	観点別目標			
		関心・意欲・態度	表現	理解	言語・文化
前時 1 / 9	(don't)have to~を用いた自己表現活動	進んで英文を書いたり、発表したりしようとする。	(don't)have to~を用いて、英文を書いたり、発表したりすることができる。		助動詞(don't)have to の形、意味、用法を理解することができる。
本時 2 / 9	ホームステイのガイドブックの内容理解		ガイドブックの続きを考え、「しなければならぬこと」などを(don't)have to~を用いて書くことができる。	ホームステイのガイドブックに書いてあるアドバイスを読み取ることができる。	ホームステイの在り方と一般的な心構えについて理解することができる。
次時 3 / 9	will を用いた対話文の作成と発表	自分から対話文を發表しようとする。	will を用いて対話文を書いたり、発表したりすることができる。		助動詞 will の形、意味、用法の理解。be going to~との用法の違いを理解することができる。

4 研究主題との関連

○英語科研究テーマ

「基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させ、4技能を総合的に活用できるコミュニケーション能力を育むための指導はどうあればよいか」

- ・基礎、基本を明確にするために、授業の導入で基礎的な表現を毎時間取り入れる。家庭学習で「話す」から「書く」へ。(家庭学習)
- ・言語の使用場面を意識した言語活動を単元の中に位置づけ、実際に使わせて理解させる。

5 本時のねらい

○ホームステイのガイドブックを読み取ることができる。また、ガイドブックの続きを(don't) have to~を用いて英文で書くことができる。

6 準備物

センテンスカード、ピクチャーカード、プロジェクター、CD プレーヤー、ワークシート

7 学習過程

段階	学習活動・内容	形態	時間	教師の支援と 評価 (方法)
導入	<p>1 あいさつをし、クリスクロスをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Who's he(she)? • Can you read this sentence? • Please translate this sentence.など。 <p>2 学習のポイントを聞き、前時を復習する。</p> <p>(1)学習のポイントを聞く。</p> <p>助動詞</p> <ul style="list-style-type: none"> • have(has)to~+動詞の原形 ~しなければならない • don't (doesn't) have to~+動詞の原形 ~する必要はない <p>(2)<u>口頭練習をする。</u></p> <p>3 本時のめあてを把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ガイドブックを読んでホームスティで大切なことは何かを読みとろう。また、(don't)have to~を用いてガイドブックの続きを書こう。</p> </div>	<p>一斉</p> <p>(5)</p> <p>一斉</p> <p>(5)</p> <p>一斉</p> <p>列</p> <p>個人</p>	<p>10</p> <p>(5)</p> <p>(5)</p>	<p>○英語であいさつをしたり、ピクチャーカードを用いて前時の学習を復習したりすることで英語学習の雰囲気づくりをする。</p> <p>○文法のポイントが視覚的に理解しやすいように、重要な部分はセンテンスカードを用いて説明する。</p> <p>○絵を拡大し、黒板に貼る。</p> <p>○正しい英文を確認した上で、繰り返し練習する。</p> <p>○文を句ごとに区切り、リズムカルに練習を行う。</p>
展開	<p>4 本文の内容 (ホームスティのガイドブック)を理解する。</p> <p>(1)オーラルイントロダクションを聞く。</p> <p>(2)新出語句を学習する。</p> <p>(3)CD を聞く。</p> <p>(4)読み取りの観点に答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • しなければならないことは何か。 • する必要がないことは何か。 • なぜ家族のルールに従わなければならないのか。 <p>(5)答え合わせをし、解説を聞く。</p> <p>(6)プロジェクターの映像から、ホームスティとホテルスティの違いについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 食事、洗濯、人との関わりなど。 	<p>一斉</p> <p>個人</p> <p>一斉</p> <p>一斉</p>	<p>30</p> <p>(10)</p> <p>(15)</p> <p>(5)</p>	<p>○教科書の場面設定を英語で説明する。下位生徒にも理解しやすいようにピクチャーカードなどを用いて説明を加える。</p> <p>○英単語の発音と意味が一致するよう工夫しながら練習を繰り返す。</p> <p>○本文の内容を大まかにつかむために読み取りの観点を与える。</p> <p>○机間巡視し、つまずきが見られる生徒に個別指導をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆ガイドブックに書いてあるアドバイスを読み取ることができたか。(理解・発表/ワークシート)</p> </div> <p>○2つの違いを明確にするために様々な観点から比較し、ホームスティの特徴をつかませる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆ホームスティの在り方と一般的な心構えについて理解することができたか。(言語、文化・観察)</p> </div>
まとめ	<p>5 <u>条件にしたがって、ガイドブックの続きを書き、発表する。</u></p> <p>6 次時の学習内容を聞く。</p> <p>7 終わりのあいさつをする。</p>	<p>個人</p> <p>一斉</p> <p>一斉</p>	<p>10</p> <p>(8)</p> <p>(2)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>☆(don't)have to~を使って、アドバイス文を書くことができたか。(表現・発表/ワークシート)</p> </div> <p>○発表した生徒を賞賛する。</p> <p>○パーフェクトノートに本時の本文の日本語訳をつけること、Dialogのノート作成をしてくることを指示する。</p>

<授業の実際>

学習活動・内容	○指導の実際 ■生徒の学びの姿
<p>1. あいさつをし、クリスクロスをする。</p> <p>2. 学習のポイントを聞き、前時を復習する。</p> <p>(1) 学習のポイントを聞く。</p> <p>(2) 口頭練習をする。</p> <p>3. 本時のめあてを把握する。</p>	<p>○ゲーム的な要素を持つクリスクロスを通して、授業の雰囲気作りと前時の復習を行った。前時の復習は次の3つを中心に行った。①have(has)と have(has) to~の意味の違い。②発音の違い。③主語による使い分け。</p> <p>■前時は新人戦前日で、落ち着きのない中での授業だったが、比較的スムーズに①～③に答えることができていた。また、ゲームの中では、生徒の顔写真のピクチャーカードを使ったので、楽しそうに復習していた。</p> <p>○文法のポイントが視覚的に理解しやすいように、重要な部分はセンテンスカードを用いて説明する。</p> <p style="text-align: center;">[実際の板書]</p> <div style="border: 1px solid black; width: 250px; height: 120px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: right;">○クリスクロスで用いたピクチャーカードを使って、「～しなければならない」という意味の英文を口頭練習した。</p> <p>(例)</p> <p>T: 「私は英語の勉強をしなければならない。」 How do you say, 勉強する in English?</p> <p>S: Study.</p> <p>T: Good. 「英語の勉強をする」とは英語でどう言う?</p> <p>S: Study English.</p> <p>T: OK. では、「私は英語の勉強をしなければならない」言ってみよう。</p> <p>S: I have to study English.</p> <p>T: That's right. [実際に使用したのピクチャーカード]</p> <div style="border: 1px solid black; width: 280px; height: 150px; margin: 10px auto;"></div> <p>4枚の絵を(例)のように口頭練習→個人練習1分→列ごとに英文を言う→一人ずつ英文が言えるか確認。</p>
<p>4. 本文の内容(ホームステイのガイドブック)を理解する。</p> <p>(1) オーラルイントロダクションを聞く。</p>	<p>○ピクチャーカードを用いて、オーラルイントロダクションをした。</p> <p>T: Do you know the country "the United States"?</p> <p>S: Yes. アメリカ</p> <p>T: That's right. This year, Sakura went to America during summer vacation. She did a homestay. Before leaving Japan, she read this book. It's about</p>

(2) 新出語句を学習する。

(3) CD を聞く。

(4) 読み取りの観点に答える。

ホームステイのガイドブックには、どのようなアドバイスが書いてあるのでしょうか。英文を読んで、質問の答えを日本語で書きなさい。

○しなければならないこと

根拠となる英文は？

(P40 1)

(P40 1)

●しなくてもいいこと

(P40 1)

★次の条件にしたがって、ホームステイのアドバイスを英文で書いてみよう。

- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____

(5) 答え合わせをし、解説を聞く。

(6) ホームステイとホテルステイの違いについて理解する。

* プロジェクターによる投影

homestay. We're going to read it.

○以下の手順で新出語句を練習した。CD リポート→カードを見て、教師のリポート（各単語ゆっくり2回）→（スピードを上げて2回）→（1回）→

生徒だけで読む→意味の確認→日本語の面を見せて、英語を話す。

○本文を流す（2回）→教師の後に続いてリポート。

○ヒントを与えてから、問題に取り組みさせた。

T: 「しなければならないこと」は何個書いてあるかな？

S: 2つ。

T: そうだね。どんな語に注目すれば「しなければならないこと」が分かるの？

S: have(has) to~。

T: そうだね。じゃあ、「しなくてもいいこと」はいくつ書いてある？

S: 1つ。

T: どの語に注目すればいいの？

S: don't have to~。

T: よし。では、問題を解いてみよう。

■問題をとく前に、どの文に着目すれば答えを出せるか確認したので、上中位の生徒はスムーズに答えることができていたが、下位生徒は手が止まっていたので、机間巡視の際に個別に指導した。リーディング不足も原因として考えられる。

[実際の板書]

○答え合わせ、解説の際には次の2つを注意して行った。

①答えの根拠となった英文はどこか。

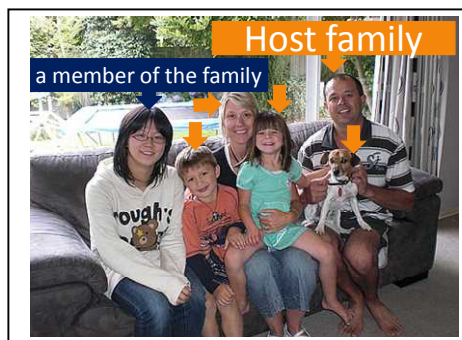
②本文を黒板に書いて、とらえさせる。

○ホームステイとはどのようなものなのか、具体的に理解させ、ガイドブックの続きを書かせるためにスライドを見せた。

[プロジェクターで投影した画像①]



[プロジェクターで投影した画像②]



通常、外国では滞在者を「ゲスト」と呼ぶ。しかし、「ゲスト」というと「招待された人」のように考えるかもしれないので、「家族の一員」と表示。

[プロジェクターで投影した画像③]

比較してみよう！

●ホテルステイ ●ホームステイ

食事…	食事…
掃除…	掃除…
洗濯…	洗濯…
人との関わり…	ホストファミリーとの関わり…

T: 海外旅行に行ったら、ホームステイする以外に、どこに泊まるかな？

S: ホテル。

T: そうだね。ここからホテルに泊まる場合とホームステイする場合ではどんな点が違うのか、4つの面で比べてみましょう。ホームステイをするって、どういうことなのだろうね？

T: まず、食事面について。ホテルでは、食事って、どんなものを、どこで食べるのかな？

S: 自分の好きなものを、好きな時間に食べられると思う。ルームサービスとかも利用できるよ。

T: ホームステイではどう？

S: うーん、家の人を作ってくれたものを食べる。食事の時間が決まっていそう。

T: みんなの苦手なものが出たら、どうする？

S: 我慢して食べるな。残したら悪いし・・・。

T: 次は掃除について。ホテルでは誰が掃除してくれるの？

S: ホテルの人。

T: ホームステイでは？

S: 家の人？

S2: いや、自分でやるんじゃない？

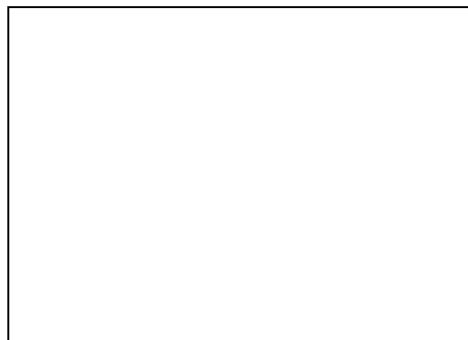
T: たいていのことは自分でやるよだよ。

S: へー、そうなんだ・・・。

T: では3つ目。洗濯について比べてみよう。ホテルはどうする？

S: うーん、コインランドリーかな。
 T: ランドリーバックに入れておくと、ホテルの人が洗ってくれる場合もあるよ。ホームステイではどうかな？
 S: 自分でしたい。
 T: 最後に人との関わりについて考えてみよう。ホテルでは、他の人との関わりってどうかな？
 S: ホームステイほどないと思う。でもホームステイではホストファミリーとの関わりが密だと思う。
 T: そうだね。今まで、ホテルステイとホームステイについて比べてきたけど、どんなことが分かった？
 S: ホテル滞在の場合は、滞在者は完全に「お客さん」。頼めば、全てホテルの人にやってもらえる。でもホームステイ先では滞在者は「お客さん」じゃないと思った。ホームステイ先の家族の中に入って生活することが分かった。
 S: なんか、日本人の考え方と違うな。
 T: 日本人の考え方って？
 S: 日本でホームステイすることになったら、外国人は「お客さん」。そういう風に接すると思っていた。でも外国ではそう思っていないことが分かった。
 T: 教科書のホームステイアドバイスに **You're a member of the family.** (あなたは家族の一員です) と書いてあった意味が理解できたかな？

[プロジェクターで投影した画像④]



じゃあ、条件にしたがって、ホームステイのアドバイス文を書いてみよう。

■両者にどのような違いがあるのかを考えさせてからの活動だったため、ほとんどの生徒(don't) have to を使ってアドバイス文を書くことができた。

5. 条件にしたがってアドバイス文を書き、発表する。

生徒が書いたホームステイのアドバイス文

- You have to clean your own room.
- You have to eat everything.
- You have to smile.
- You have to be relax.
- You have to cook with them.
- You have to tell about your future dream.
- You have to help your family.
- You have to know your family.
- You don't have be nervous.

6. 次時の学習内容を聞く。

7. 終わりのあいさつをする。

■本時の授業では、英文の形が決まっていたので、下位層の生徒も表現することができた。今後、上中位生徒には副詞や連語を付け加えるような指導をしていきたい。

[授業中の様子]

